

安全報告書 2018



1 ゆりかもめ [安全報告書2018] 発行にあたって

平素より「ゆりかもめ」をご利用いただきまして、ありがとうございます。

都心と臨海副都心を結ぶ「ゆりかもめ」は平成7年11月の開業以来、臨海地域とともに成長をつづけ、平成29年度は、一日平均約12万人のお客様にご利用いただきました。

「ゆりかもめ」沿線では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、多くの競技施設の建設が進められているほか、平成30年10月には、「市場前駅」に隣接して豊洲市場が開場の予定となっており、今後、国内外からより多くのお客様が来訪され、「ゆりかもめ」をご利用いただくことが見込まれます。

弊社では、お客様に安全で安定した輸送を提供することを最大の使命・責務として、日々の保守点検、社員の教育訓練、設備の新設・更新等を計画的に進め、安全に対する取り組みを深化させるとともに、すべてのお客様が安心して快適にご利用いただける交通機関を目指しております。

平成30年度は、7300系に続く新型車両の導入や、新橋駅・豊洲駅駅舎の大規模リニューアル、案内サインの刷新等を進め、お客様サービスのさらなる向上に努めて参ります。

この報告書は、輸送の安全を確保するために弊社が取り組んでいる施策等をまとめたものです。安全運行の一層の充実を図っていくため、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 **櫻井 務**

ゆりかもめ“企業理念” 安全で快適な輸送サービスにより、お客様に笑顔と満足をお届けし、臨海地域、東京の発展に貢献する。

2 安全方針

当社では、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

ゆりかもめ安全方針

私たちは、お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない「新交通ゆりかもめ」をめざします。

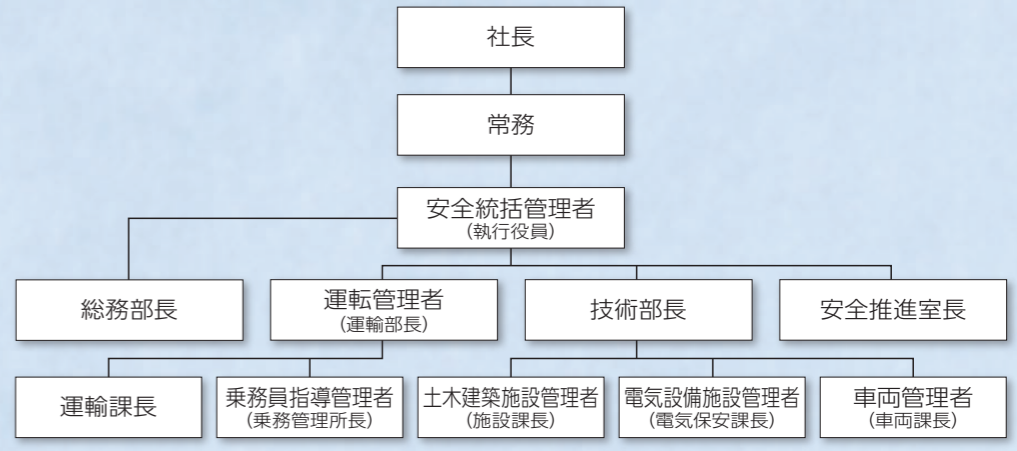
このため、

- 日々、法令・規程を遵守し、忠実に職務を遂行します。
- 情報を迅速かつ正確に伝えて共有化し、事故の芽を摘むことに努めます。
- 常に安全に対する問題意識を持ち、必要な改善に取り組みます。
- 事故・災害等の発生時は、人命救助を最優先に行動します。

3 当社の安全管理体制

[1]安全管理体制図

社長を筆頭とする安全管理体制を構築しています。各責任者の責務を明確にし、安全確保に取り組んでいます。



[2]役職と責務

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
安全推進室長	事故防止に関する事項を統括する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務及び人事に関する事項を統括する
運輸管理者	運輸に関する事項を統括する
運輸課長	列車の運行管理その他運輸に関する業務を統括する
乗務員指導管理者	運輸指導の資質保持に関する事項を管理する
技術部長	鉄軌道施設、車両等その他技術に関する事項を統括する
土木建築施設管理者	土木建築施設に関する事項を統括する
電気設備施設管理者	電気設備に関する事項を統括する
車両管理者	車両に関する事項を統括する

4 平成29年度 鉄道運転事故・輸送障害等の概要

- [1]鉄道運転事故(衝突、脱線、火災、人身傷害、物損にかかる事故)**
鉄道運転事故はありませんでした。
- [2]輸送障害(列車の運休、または30分以上の遅延が発生したもの)**
輸送障害は、電車線路故障が2件、自然災害が3件、その他3件(飛来物による停電2件、その他1件)の合計8件発生しました。このうち、お客様に特に影響が大きかったのは次の4件でした。ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

- 平成30年1月22日、1月23日 雪の影響により遅れと運休が発生
- 平成30年1月25日、3月14日 電車線路故障により遅れと運休が発生

[3]インシデント(鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められるもの)
インシデントはありませんでした。

5 輸送の安全確保のための取り組み

[1]保安対策委員会

ゆりかもめの安全と社員意識の向上を図ることを目的に、社長、役員、管理職及び現場長で構成する保安対策委員会を年5回開催しています。



[2]安全重点施策

安全性の維持向上を図るため、目標と計画を定めた「安全重点施策」を毎年度策定し、各種教育訓練や設備の改善に取り組んでいます。

◇平成29年度に取り組んだ内容のうち、主なものは次のとおりです。

区分	内容
安全・安定輸送の確保	事故・災害時の措置を円滑に行うため、関係部署間合同訓練を実施した 損傷状況に応じた走行路補修訓練を実施した 電力遠隔制御装置のプロセッサ交換訓練を実施した
設備の新設・更新・機能維持	走行路の大規模な補修を更に実施した 台場駅他、2基のエレベーターを更新した 全駅のインターホン装置を更新した 新橋駅、汐留駅のホームドア制御部を更新した 新型車両の設計を進め、認可の手続きを行った

◇平成30年度に取り組む内容のうち、主なものは次のとおりです。

区分	内容
安全・安定輸送の確保	異常時における更なる対応力強化を図るため、関係部署間合同訓練を継続して実施する 損傷状況に応じた走行路補修訓練を昨年度に引き続き実施する 電車線碍子破損に対する対応訓練を実施する 除雪ブラシ交換訓練を実施する
設備の新設・更新・機能維持	走行路の大規模な補修を昨年度に引き続き実施する 案内軌条締結装置の部品交換を実施する 電気設備を保護するための継電器を更新する 全駅の案内放送装置を更新する 新型車両(7500系)を新たに1編成導入する

[3]役員・管理職による職場巡回

社長以下、管理職が定期的に各職場を巡回し、安全確認を行っています。また、役員・管理職と社員との懇談会を通じて安全意識の高揚を図っています。



[4]工事及び保守業務委託受注者安全説明会

年度当初に、受注者を対象として当社の安全管理規程やヒューマンエラー対策等について安全講習を行い、現場作業の安全確保に努めています。



[5]異常時総合訓練

異常時を想定し、お客様の避難誘導や事故復旧のための総合訓練を実施しています。平成29年度は、飛来物による停電の発生と車両・設備等の損傷を想定して行いました。避難誘導の際には、他の鉄道事業者の方々にもお客様役として参加頂きました。



[6]安全のための支出

平成29年度は、安全性の維持向上を図るため、総額30億円を施設、設備や車両の更新・修繕、保守管理等に充てました。



6 安心してご利用いただくための取り組み

[1]車内防犯カメラ

平成25年度から運行を開始した7300系車両には車内に防犯カメラを設置しています。設置場所には「防犯カメラ作動中」と表示しています。



[2]モニター付きインターホン

インターホン装置の更新を行い、券売機・精算機の付近には、モニター付きのインターホンを設置しました。これにより、お客様がお困りの際に、音声だけではなく文字や映像でのご案内が可能となりました。



モニター付きインターホン



[3]ホームドア等の設置状況

ゆりかもめでは、列車の乗降ドアと連動して開閉されるフルスクリーンタイプのホームドアを全16駅に設置し、ホームからの転落事故や列車との接触事故の防止を図っています。

また、体の不自由な方や高齢の方などにも安心してご利用いただけるようエスカレーター、エレベーターの昇降設備のほか、誘導用・警告用の点字ブロック、多機能トイレを設けています。



お客様へのお願い

ゆりかもめは自動運転をしています。ドアの閉まりかけた列車への無理なご乗車は、危険ですのでおやめください。

不審物・不審者の発見時はお近くの駅係員または、駅や車内に設置されているインターホンでお知らせください。

今後とも安全運行に向けて、お客様のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

この安全報告書や当社の安全への取り組みに対するご意見・ご感想をお寄せください。

株式会社ゆりかもめ

TEL 03-3529-7777 [代] 9:00~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)

FAX 03-3529-7770

URL <http://www.yurikamome.co.jp>

